



平成 21 年 3 月 27 日

各 位

会社名 南海辰村建設株式会社
 代表者名 取締役社長 中嶋 誠之
 (コード1850 大証第2部)
 問合せ先 取締役常務執行役員経営管理本部長
 片岡 健治
 (TEL. 06-6644-7802)

通期業績予想の修正および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 4 月 28 日の決算発表時に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 44,300	百万円 860	百万円 630	百万円 610	円 銭 2 12
今回修正予想(B)	38,100	420	240	△3,230	△11 20
増減額(B-A)	△6,200	△440	△390	△3,840	—
増減率(%)	△14.0	△51.2	△61.9	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	36,391	80	△134	170	0 59

(2)平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 43,800	百万円 850	百万円 620	百万円 600	円 銭 2 08
今回修正予想(B)	37,500	390	210	△3,250	△11 27
増減額(B-A)	△6,300	△460	△410	△3,850	—
増減率(%)	△14.4	△54.1	△66.1	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	35,986	85	△131	187	0 65

2. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正理由

売上高につきましては、金融危機に端を発した景気後退に伴う受注の期ずれや施工中の物件の保全に伴う不動産事業への振替などにより、前回発表予想に比べ6,200百万円減の38,100百万円となる見込みであります。利益面につきましては、工事原価管理の徹底によりフロー経営は再構築されていると考えておりますが、上記の売上高の減少に伴い営業利益は420百万円、経常利益は240百万円となる見込みであります。また、債権の見直しにより貸倒引当金を追加計上するとともに一部所有不動産の減損処理を実施すること等により特別損失として2,340百万円を計上いたします。これらに伴い繰延税金資産を取り崩す必要が生じたこともあり、当期純損失は3,230百万円となる見込みであります。

(2) 個別業績予想の修正理由

個別業績予想につきましては、連結業績予想の修正に伴うものであります。

なお、こうした状況に対する経営政策として、「資本金の額の減少および剰余金の処分について」と「3カ年経営計画（平成21年度～平成23年度）の策定について」を本日決議し公表させていただいております。

3. 繰延税金資産の取崩しについて

通期業績予想の修正に伴い、これまで計上しておりました繰延税金資産について再検討しました結果、この際、その大部分を取り崩し、法人税等調整額として1,100百万円を計上する見込みとなりました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上